

会議録

会議の名称	第9回新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会
開催日時	令和7年9月8日（月）午後7時00分から
開催場所	新城市役所3階災害対策本部室3
会議の次第	1 委嘱状交付 2 自己紹介 3 委員長あいさつ 4 検討 (1) 説明 (2) 討論テーマについて (3) 討論方法について 5 その他
欠席委員	中野委員 推薦委員2人

1 委嘱状交付

立候補予定者から推薦を受けた者に委嘱状を交付した。

2 自己紹介

事務局、推薦委員、公募委員の順に自己紹介を行った。

3 委員長あいさつ

委員長からあいさつがされた。

4 検討

(1) 説明

委員長	それでは(1)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 - これから検討していくものは、大きく分けて議題、討論会の中身の概要、主宰者、討論会の中身の具体化の4つとなる。 - 議題は、各立候補予定者の提案とアンケート結果などを踏まえて検討する。時間がないため、次回で確定させる。 - 討論会の中身の概要については、○×での回答、口頭での回答、立候補予定者同士での討論等が想定されるが、それらの概要・構成を決める。 - 主宰者については、2人以上での開催であるため、司会進行役となる。条例上、各立候補予定者の承認を得る必要があることから、推薦委員は立候補予定者との調整役となってもらう。 - 討論会の中身の具体化については、○×の質問内容等の決定であるが、立候補予定者が当日になって初めて知る質問を用意する場合には、推薦委員は参加せず、一般委員のみで行う必要がある。事前に内容を知らせる質問がある場合には、具体化後に各立候補予定者にその内容を伝えることになる。

(2) 討論テーマについて

委員長	それでは(2)について、事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】

	・ 開催日にそれぞれ討論テーマを設定する。1日ずつ違うテーマ、2日とも同じテーマ、場合によっては1日で2テーマずつということも考えられる。それにより討論方法も変わってくる。 ・ テーマについては、条例上、立候補予定者の提案内容を尊重するよう定められている。また、実行委員会として実施したアンケートの結果を資料として配布をしている。それらを参考として、また、市として重要な政治課題があればそれらも考えながらテーマを決定する。 ・ 4年前は、安心して暮らし続けられるまちづくり～生活安心政策～（1日目）、人が集まる活力あるまちづくり～産業政策～（2日目）、人口減少と少子高齢化に負けないまちづくり～人口政策～（3日目）であった。
委員長	ありがとうございました。 資料が多いですので、まずは資料を見る時間をとろうと思います。 立候補予定者の提案内容の尊重ということがありますので、推薦委員の方に各立候補予定者の思いを伺ってから話し合いができればと思います。 では、5分ほど時間をとります。
委員長	時間になりますので始めますが、質問等がありますか。
推薦委員	郵送は500通でしたよね。少ない感じがしますが。
委員長	予算内の最大数で郵送をしたという感じですが、事務局からはどうですか。
事務局	郵送としては500通ですが、それだけではなくて広報紙やティーズの放送、市の公式LINEでもアンケートの募集を行いました。 その結果が、資料にある合計228件の回答です。
委員長	今日は、アンケート結果の精査ではなくてテーマ決めですので、アンケートの方法等については、事務局の方にお尋ねください。
事務局	今日でテーマを決めきるわけではなくて、次回の11日までにアンケートの内容は精査していただいて、その上で11日に最終的な

	検討をして確定をさせるという想定です。
委員長	では、各立候補予定者から提出された議題の提案内容を推薦委員の方から説明していただいてそこから大枠の話し合いができればと思います。 先にどちらからお話しいただきましょうか。 下江さん陣営としてはいかがでしょうか。
推薦委員	テーマとしては、産業基盤の強化、人口集積による中心市街地の活性化、移住・定住ではなく観光等で市を訪れる関係人口の増加の3点を挙げさせていただきます。 今回のアンケートを見た感じでは、市民の関心が高いものは安全安心と医療の関係ですので、防災や医療については討論テーマとしても良いのかなと思います。一度持ち帰って検討をしたいです。
委員長	ありがとうございました。確認ですが、議題提案書としては人口と産業の2つが挙げられていて、今お話しいただいたものは参加申出書の方の政策・方策ですが、提案としては3つという認識で良いですか。
推薦委員	人口問題対策と産業対策をする上でこの3点が重要という趣旨と御理解いただければと思います。
委員長	分かりました。 では、カークランドさん陣営から説明をお願いします。
推薦委員	1番目は、事業精査と財源・時間の確保です。無駄な時間を使わないように、財源を確保できるように、働き方改革なども踏まえながら、財源の確保は重要な問題ですので、ふるさと納税にも言及をしなければならないということです。 2番目は、市の魅力の掘り起こしです。市の自然や歴史を活かしきれていない状況がありますので、そういったことにも目を届かせながら外からの人を呼び込む観光政策につなげていきたいということです。 3番目は、住民自治です。住民が何を求めているのかということ

	で、先程下江さんの陣営から安全安心の話が出ましたが、市民病院の件が市民の間でも話がでていますので、安心安全もテーマに取り上げたいと思います。 具体例については、参加申出書の方に記載があります。 調整をしながら議題を決定する必要があると思います。資料は今回いただいたばかりですので、それぞれが持って帰って、お互いに合致する部分もありますので調整したいと思います。
委員長	それぞれの陣営から説明いただきました。次回でのテーマ決定に向けて、もう一步踏み込むと、一般委員からの意見やこの場で話し合っておいた方が良いことを確認しておこうと思います。
推薦委員	意見の調整をしてから話をした方が決めやすいですし、早く決まると思います。
委員長	下江さんの陣営としてはどうですか。
推薦委員	できればこの場で大枠を出しておいて、それを持ち帰って11日に決定をするという流れが良いと思います。
推薦委員	候補を出しておいてということですか。
推薦委員	一般委員の方の思いもありますので、案を出しておいて調整した上で11日に臨めればということです。
推薦委員	分かりました。 少し相談する時間がほしいのですが。 今日、意見を出しておくということですよ。
委員長	そうですね。下江さん陣営の先程の意向を受けるのであれば、各立候補予定者の意見と推薦委員の意見と一般委員の意見とを踏まえていくつかの候補を挙げておいて、それを持って帰ってもらって調整をという流れです。 その前に時間をとって相談をしておきたいということですか。
	【カークランドさん推薦委員での短い相談】
推薦委員	カークランドさんの方から出していただいているテーマが議題提案書の3つ、こちらが議題提案書の2つを出している状況で、アン

	ケートの結果を見ると医療・福祉と災害という分野については候補から外せないかなと思います。また、それにプラスしたい候補があるということであればそれを出していただいて、一般委員の方が良ければ、それらを候補として持ち帰って調整をする方法が良いと思いますが、いかがでしょうか。
推薦委員	アンケートの結果を見ると、下江さん陣営がおっしゃられた医療・福祉と災害のテーマの候補として必要かと思います。それとこちらとしては子育て・教育についても触れたいとは思っています。
委員長	医療・福祉、災害、子育て、教育という案が候補として出てきました。それでは、ここからは一般委員からの意見を出して持ち帰ってもらう情報の整理をして終了しようと思います。 では一般委員から意見をお願いします。
委員	このテーマが良いとは言えませんが、カークランドさんと下江さんと市民で向いている方向が違うのかなと思いました。カークランドさんは、住民自治・市政の運営・財源確保となっていて、内を固める、市の運営を固めることに重点を置いている内容で、下江さんは人口と産業となっていて外とのつながりを重点にしています。市民は、医療・福祉、防災がアンケートで多く、これは市の中にいての心配事だと思います。 提案内容に重なるところがありますし、市民の心配事は取り上げた方が良いのかなと思いました。重なる部分で1つとどちらかの言いたいものを話すということが良いかと思いました。
推薦委員	最初の説明で1日のテーマ数の話が出ましたが、そこを決めていないと選ぶテーマの数が分かりませんので、そこを決めておかないと。1日2テーマであれば、今の3つの分類から1つずつ選べたりできますので。
委員長	そうですね。先にそちらを決めますかね。 では、一般委員の意見を出した上で両陣営から意見をもらいましょう。

	どうですか。
委員	立候補予定者がテーマにしたいものから1つ、市民の知りたいことから1つとして、2テーマを2回が良いと思います。
委員	1日2テーマも良いと思います。
委員	私も1日2テーマで良いと思いますが、先に数を決めてからが良いのかは疑問です。テーマにしたい候補がいくつもあって、それなら1日2テーマにしようかという方がスムーズなのかなと、逆にテーマにしたい内容が合致して1テーマずつでとなればそれでいいでしょうし。
委員長	その考えもあると思っていましたが、各陣営に持ち帰っての調整のしやすさがありますので、一旦意見を出してもらおうと思います。
委員	1つのテーマをじっくりではなく、幅広いテーマで聞ける方が良い—市民としては興味があります。なるべく多くのテーマを扱いたいです。いくつかのテーマに優先順位を付けておいて、時間が来るまで順番に進めるという方法もあるかと思います。
委員長	1つの方法ですね。
委員	人口問題の場合には、内容的に話の広がりがあり、例えば市の魅力の掘り起こしや産業は人口に関係しますし、線引きが難しいため話が派生していくと思います。ファシリテーターの人がどのように進めていくかということがあると思いますので、細かく決めていくことは難しいと感じます。
委員長	現時点で、何テーマと決めきるのも難しいということですね。
委員	ざっくりとしたテーマにしておいてそこから派生するもので臨機応変に対応する方が討論会としては良いと思います。
委員	お話を聞いているとどの意見も良いと思ってしまいます。 1日1テーマでも2テーマでも良いと思いますが、各立候補予定者が1つのテーマについてじっくり話したいのか、広く話したいのかは重要だと思いますので、確認しておきたいです。 アンケートは、市民からの意見ですので無意味なものでは絶対に

	ありませんが、4万人以上の中の200人強の声ですので、これに縛られすぎなくても良いと思います。
委員長	これまでの意見からすると、この場では決めずに、持ち帰っていただいて次回に出てきたもので検討をする形が良いと思います。 いかがでしょうか。
推薦委員	ここまでの色々な意見を受けて、各立候補予定者の個性もありますし、決め方に迷います。先程ありましたように、人口のようなものであれば話が波及していきますし、大きなテーマにしておいて2人で語ってもらう方が本来の討論のような気がします。
推薦委員	テーマが漠然とするとそれに対する資料集めが大変になります。 お互いに。
推薦委員	10月7日と13日は、平日の夜と祝日の日中で聞いてくれる層が違うと思います。祝日開催の場合には夜の開催では来られない子育て世代の方などが来ることができる機会になると思いますので、同じテーマではなくそれに合わせたものにした方が良いでしょう。
推薦委員	キッチンカーはどうなっていますか。
事務局	現在、4店舗が13日に出店予定です。
委員長	討論会後に、食べながら感想などの話ができる場になるように準備をしています。
委員長	では、テーマの数を含めてもう少し意見を出して、持ち帰ってもらう情報を増やしてテーマ検討は終了しようと思います。
委員	いくつかの分野の意見が出ましたが、追加するとすればアンケートの結果を見ると高齢者を入れても良いかと思います。ほかには立候補予定者の提案と重なる部分があると思いますので。
委員	絞った方が良いでしょう。でも思いつく広いテーマになるかと思いますが、一市民としての意見としては現在の困りごとについての話を聞きたいです。未来のことは発想さえあれば言えてしまうものですが、現状の問題の話は次の4年間で変わっていくことを実感しやすいも

	のだと思います。市民が困っていることやすぐに対応してほしいことについて、どう考えているのかを純粋に聞きたいです。その中には未来の展望も入れてほしいですが、未来に視点が行きがちだと思いますので、現状の課題を伝えつつどうするのかという話が、ネガティブなことではありますが、市民としてはそこが心配だと思いますので、市長になろうとする人がそこを問題として捉えていることを知りたいと思います。
推薦委員	私は、立候補予定者がどのような問題意識を持っていてどのようにしていきたいのか、考えていることや資質が分かるものが一部分あっても良いと思います。最初からテーマを絞るのではなくて、テーマについて話す中で考え方の一部が分かりますが、候補者の考えていることの本筋を本人から伝えてほしいですし、そういったものがあっても良いのではないのでしょうか。
委員長	分かりました。陣営としての総意として次回までに調整してきていただければ、テーマをそのような形で広くすることも可能でしょうし、討論の方法としてテーマに関係しない時間を作っても良いでしょうし、色々なやり方はあると思います。 持ち帰れる情報としてはこの程度かと思いますので、それぞれ調整をしてきていただいて次回に決定したいと思います。

(3) 討論方法について

委員長	事務局から説明をお願いします。
事務局	【事務局説明概要】 ・ 討論会の中身を決めていく必要がある。 ・ 具体化は後日行うが、方法、内容、時間配分などを決めていく。 ・ 4年前は、オープニング、市の現状の情報共有、自己紹介、ルール説明等が入り、その後立候補予定者同士での討論を20分×4回、最後にまとめという形式で実施した。 ・ これまでの実行委員会の検討では、分かりやすい大きな争点

	見当たらないという理由等から、立候補予定者同士での討論だけではなく、質問に対する○×や口頭での回答を多くしてはどうかという意見が強かった。 ・ ○×等は、浅く広いものとなり、立候補予定者同士での討論は議論の深掘りができる方法となる。 ・ 市民が立候補予定者の政策・方策を理解することを目的とした討論会であるため、市民目線で最も良い内容となるよう検討をしたい。
委員長	討論方法について検討をしていきたいと思いますが、こちらはテーマよりは検討する時間がありますので、第11回での決定を予定しています。 先程、当事者同士での討論とテーマに関係のない時間があっても良いのではという意見が出ていましたが、ここから御意見いただければと思います。
委員	人間性が見えることも重要ですので、あらかじめの回答準備ができない問題を設定すると良いと思います。 ○×質問に関しては、人柄質問として使うと良いと思います。
委員	○×については、単に挙げて終わりとするのではなくその後に補足時間を設けて、討論ばかりが続いても単調で面白くないので、間に設ける形が良いと思います。問題数としても5問程度あると良いです。
推薦委員	政策に関する○×質問の場合、補足時間を設けないと挙げた札の回答だけが独り歩きしてしまうおそれがあります。設問に関しては×だけれど代替案があったりする場合もありますので。
委員長	今の御意見に対してどちらの運営も異論がないようであれば、政策に関する○×質問については補足の時間を設けることにしたいと思いますがいかがでしょうか。
推薦委員	○×は二者択一になってしまいますので、本人の意図がちゃんと伝わるようにすることは良いと思います。

委員長	それではその点については合意をいただいたものとします。
委員長	それでは確認事項がなければ今日は終了したいと思います。

5 その他

事務局	9月11日の午後7時からです。 推薦委員のみなさんは立候補予定者の方との調整をお願いします。
-----	--